

# SMOKA サーバからのデータ転送方法

【データ請求からデータ請求ができるようになるまで】

SMOKA でデータを請求する際には “どのようにしてデータを取得するか” を選択する必要があるが、FTP を選択するとネットワーク経由での取得が可能となる。データの取得方法として FTP を選択すると、SMOKA システムから登録したアドレス宛に

- ① 『データ請求を受けつけた』 というメール
- ② 『サーバーにデータの準備ができた』 というメール

という、2 通のメールが届く。本紙の裏面にメールの例がある。

②のメールには、サーバーの名前とデータが用意されたディレクトリーまでのパス、およびアクセスのためのユーザー名とパスワードが書かれている。

```
ftp://smokaftp.nao.ac.jp
(user = smokaftp passwd = PASSWORD )
```

および

```
ftp://smokaftp@smokaftp.nao.ac.jp/userid_MMDDxxxxxxx/
```

という文字列を探す。なお、PASSWORD および userid\_MMDDxxxxxxx の箇所は、実際には具体的な英数字の文字列が書かれている。それぞれの意味は以下の通り。

FTP サーバー名：	smokaftp.nao.ac.jp
FTP ユーザー名：	smokaftp
FTP パスワード：	PASSWORD
データディレクトリー：	userid_MMDDxxxxxxx (request-ID と同一。MMDD には日付が入る)

【データ転送】

②のメールが届いたら 7 日間以内にデータを取得する必要がある。

FTP でも何でも良いが、ここではコマンド一つでデータを取得できる wget を使ってみる。このコマンドの使い方(文法)は以下の通りである。

```
(prompt)% wget -nd -r ftp://(ユーザー):(パスワード)@(サーバー)/(データディレクトリー)
(注)“(prompt)%”は入力しない。
```

実際の例は以下の通りである。

```
(prompt)% wget -nd -r ftp://smokaftp:k04qBnCa8@smokaftp.nao.ac.jp/yyamada0725151423
(注)“(prompt)%”は入力しない。
```

## 【SMOKA から届くメールの例】

### ① 『データ請求を受け付けました』メール

```
user = <SMOKA で登録したアカウント名>  
Thank you very much for your using SMOKA.  
Your SMOKA Data Request is accepted.  
Please wait for a while for the data copy.  
When it finishes, a message will be sent to you.  
(後略)
```

### ② 『データの準備ができました』メール

```
user = <SMOKA で登録したアカウント名>  
Thank you very much for your using SMOKA.  
Data Copy for your SMOKA Data Request is finished.  
Now you can access to the data.  
Please access to the URL below.  
ftp://smokaftp.nao.ac.jp  
(user = smokaftp passwd = PASSWORD )  
or  
ftp://smokaftp:PASSWORD @smokaftp.nao.ac.jp/  
The retention period of the directory is seven days.  
URL : ftp://smokaftp@smokaftp.nao.ac.jp/ <データが置かれているディレクトリ>  
nFile= <請求したファイル数> , Size= *** MB  
(後略)
```